

## 第11回米原市定例教育委員会

日 時：平成25年11月21日  
午後3時00分開会  
場 所：山東庁舎 3階  
第2委員会室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 堀田委員 小路委員  
山本教育長

教 育 部 長：坪井部長

教 育 総 務 課：田中課長 山田課長補佐

学 校 教 育 課：岡田課長

生 涯 学 習 課：西出課長補佐

歴史文化財保護課：桂田課長

学 校 給 食 課：喜田課長

図 書 館：小北館長

書 記：田中

### 1 開 会

### 2 委員長あいさつ

- 今ちょうど学校訪問をしています。例年と違う雰囲気が漂っている学校もありました。学校訪問を全て終えたら、1月の管理職会で報告させていただきたいと思います。一つのことを徹底する、筋を通すことが弱い気がします。学校で毎年それぞれ目標を見直して取り組んでいただいています。あまり変化がない、実践に結びついていない。課題は変わっても年度ごとに実践を積み上げていかなければならない。学校のトップの教育に関わる姿勢、人間性の豊かさが重要で、そういったことによって人を導けるのではないかと思います。
- 学校関係では5月頃には教育委員会から何の教科に力を入れるか、どのようにするか。の打診があります。年度が始まったら次の年度の構想を描いていなければならない。先を見た構想を持ちながら次の年度はどう繋いでいくか、夢を描いて欲しいと思います。
- 課題のある学校もありますが、ここ数年で環境整備がなされている学校もありました。中学校でも教室経営はできるということを実証しているので、他へ広げて行って欲しいと思います。先生方の他から学ぶ姿勢を作っていく、人の良い所を見て自分を高めていく努力が必要だと思います。

### 3 会議録承認

10月定例会議事録 承認

### 4 教育長報告

- 学校だけでなく、今後は教育施設の訪問にも取り組みたいと考えています。前回の教育委員会は米原公民館で行いましたが、2か月に1回はルッチプラザや近江図書館等の施設で行うことも必要かと考えていますので、御意見があれば出していただきたいと思います。
- 11月は来年度予算の編成時期であり、10日過ぎから教育部局内の予算ヒアリングをして、11月15日に財政課に提出しました。28日に財政課によるヒアリングが行われる予定です。市長の政策提案や、私が就任してから大事に取り組みたいと考えています「地域に根ざした特色ある学校づくり」や「家庭教育の充実に」について各課にお願いしておりますが、その辺りの説明を財政課にきちんとできるかが次の鍵となっています。

#### 【教育総務課】

- 11月8日に（仮称）近江地域認定こども園の起工式がありました。12月6日に（仮称）かなん認定こども園の起工式を予定していますので、寒い時期ですが、よろしくお願ひします。本日の報告事項にあります、（仮称）かなん認定こども園の園章について御確認等お願いします。また、スクールバスについて市民の方から御意見をいただくことがありましたので、後ほど議論をお願いしたいと思います。
- 認定こども園関係については、課長、部長も含め、教育総務課の課員が地域や保護者への説明会に出向き、そこで出た意見を聞きながら進めている状況です。

#### 【学校教育課】

- 11月16日に学校評議員の研修会を行いました。私も挨拶を兼ねて地域に根ざした特色ある学校づくりをしたいので協力して欲しいということと、家庭教育の充実が大事との話をさせていただきました。今年はグループ協議の時間も持って、学校評議員の方の日頃の思いをお聞きし、来年は教育フォーラム的な集いをしたいので御協力いただきたいという話もしました。
- 11月28日に管理職と算数・数学の担当者を対象に授業力向上の研修を行います。福井県が学力が高いという結果が出ていますので、福井県のある学校の校長先生、研究主任に来ていただき取組のお話を聞きます。

#### 【生涯学習課】

- 11月15日に社会教育委員会があり、私の方からは家庭教育という部分が子どもの健全育成、学力にも影響するので、若干手薄になっている家庭教育を向上させて、子どもの健全育成、学力向上を考えていきたいとお願ひしたところ、今年、来年の2年間のテーマとして、家庭教育の充実について議論を進めようという方向性を出していただきました。
- 11月10日に「人権を考える集い」が米原公民館でありましたが、人権同和教育として非

常に価値ある研修会だと思いましたが、より良い企画ができるよう考えていけたらと思います。

- 毎年開催しています「いきいき健康ウォーク」ですが、今年は11月17日に甲津原交流センターを発着として姉川ダムまで歩くコースで開催されました。一般市民の参加は約230人、スタッフを含めると約300人で紅葉の東草野の町並みを散策しました。
- 現在、今後の米原市のスポーツ推進基本計画を策定するための会議を行っています。11月28日が第4回の会議となりますが、そこで大枠の物が出てきそうだと考えています。「希望と元気とスポーツコミュニティのまち 米原」、スポーツを通したまちづくりをイメージした企画のまとめを進めているところです。

#### 【歴史文化財保護課】

- 11月15日に東草野の山村計画が国の重要文化的景観に指定されたという報告を受け、16日の新聞に掲載されました。まちの景観の整備と保存、活用について地域の人と共に委員会を立ち上げながら進めていきます。
- 11月23日に上平寺集会所で黒田官兵衛についての講演会が行われます。私も先日「黒田官兵衛と湖北」という歴史講座に行きましたが、幅広い年齢層の方が熱心に話を聞いておられました。こういったことが広く市民に伝わることも必要だと感じました。

#### 【学校給食課】

- 12月になりますとお鍋給食が始まります。各学校で給食センターを活用した親子料理教室も行っています。教育委員の方に外の教育施設を見ていただきますと、そこで働いている職員の励みになりますので、機会があれば覗いていただけたらと思います。

#### 【図書館】

- 1月25日の成果報告会に向けて、学校支援の本部事業に関わる運営委員会で打ち合わせ等を行っていただいています。図書館協議会では東近江市へ研修に行っていただきました。東近江市では学校図書館に図書館司書を派遣しています。モデル校を作って、2、3校に1人の図書館司書を派遣して、学校の図書館整備と子ども達と本を繋ぐ役割を行う取組をされています。米原市の予算の段階でも、次年度の学校図書館司書の配置について議論しながら考えたいと思っています。

委員：米原の認定こども園に関する検討委員会があるようですが、現役の保育士の意見とこども園についての様々な意見があるので、大きい園になるとトップの方あるいは二番手の方がしっかりしていただかないと難しいのではないかと思います。滋賀県下でも大きな園を見せていただくと厳しいと感じました。

事務局：私も米原はまとめていくのが非常に難しいと感じました。場所の問題やどのような統合が考えられるのかについても、いろんな立場から様々な意見が出ていました。

委員：急激に公設民営の園児数が増えているようですね。

事務局：米原保育園が定員をかなり超えての申込みがあったようですが、一つは保育料の改

定が影響していると考えられます。地域的な要件・事情も含めながら、どのような形にするのか、如何にまとめていくのかは地域の声を十分聞いて行っていかなければなりません。

委員：認定こども園の組織は、園長は1人でも補佐する人は複数おられるのですか。

事務局：近江地域認定こども園は平成27年の開園に向けて体制を今から検討します。園長1人で持ちこたえられるものではありませんので、幼児・乳児の主任体制等の検討を十分に行います。

委員：適任者がいるのかという問題がありますね。

事務局：保育士の年齢層にギャップがあります。

事務局：今年から採用の見直しを行い、経験者採用の年齢制限を上げさせていただきました。また、民間サービスに頼らざるを得ない部分があるのも事実です。指定管理の課題もあります。

委員：学校評議員の研修をされたそうですが、講義された内容等のフィードバックをお願いします。

事務局：次回にでも報告させていただきます。

## 5 議案審議

議案第63号 平成25年度米原市一般会計補正予算(第6号)について 【各 課】  
議案承認

議案第64号 米原市社会教育委員条例の一部を改正する条例について 【生涯学習課】  
議案承認

## 6 報告事項

(1) (仮称) かなん認定こども園の園章について 【教育総務課】

委員：河南小学校の校章はどんなデザインでしたか。

事務局：鳩が羽ばたくイメージでデザインされたアルファベットのKの中に小学校の「小」の文字が入ったものです。

委員：園章案の緑色の部分は、この色をそのまま使用されるのですか。

事務局：選考委員会の中では、黄緑、薄い緑が良いという意見が出ていました。形についても、もう少し円形に近づけた方が良いとの意見がありました。こういった意見を参考にしながらデザイン化します。

委員：地元の方のデザインだということでホッとしました。

委員：今まではセミプロのような方の応募がありました。

事務局：今回のデザイン募集は、米原市内に在住・在学・在勤している人に限定しています。

(2)「平成 25 年度 全国学力・学習状況調査」米原市の結果について 【学校教育課】

委員：学級懇談会等があると思いますが、結果について保護者は十分理解しておられますか。

事務局：学力調査の結果は個別に返すので、自分の子どもについてはできなかつた問題や全国平均との比較は気にされると思いますが、クラス単位、学校としてはどうかといった部分まではあまり気にされないと思います。

委員：わかりやすい授業のためのソフトの導入は、教育委員会としてどの程度支援されるのですか。他市に比べて遅れているように思います。教科書・資料だけでなく授業環境を整えなければならない。教科書はいつから変わりますか。

事務局：来年が検定の調査、再来年から小学校が新しくなります。来年 1 年間は教師が如何に効率的に使うかを学ぶ期間とし、27 年度予算に向けてデジタル教科書導入の構想を持っています。退職を目の前に控えた教師が新しいものに対応できるかという問題もあるので、再来年に向けて準備をしたいと考えています。

委員：主任だけでなく担任の研修会はできないのですか。

事務局：ICT 部会というものはありますが、ICT を使用するのに設備の面で不十分などところがあり難しい。来年 1 年間は、河南小学校での公開授業に参加してもらい、教科書出版社のスタッフも呼んで使い方の研修会ができないかと考えています。

i P a d を個人に持たせるには、まだ教師の力量が十分ではないように思います。

委員：活用できる教師とできない教師の差がますます増えてくる。時代の流れに乗っていくのは難しいと感じます。学校訪問した時に、ICT を利用していたお子さんは目が生き生きして勉強に一生懸命取り組んでいました。今後、導入を視野に入れて研究していただきたいと思います。

事務局：視覚で興味を持つことと、子ども達にしっかり考えさせることの両方を加味して授業を作っていくことを大事にしなくてはならない。将来的に授業で i P a d を使用することになっても、授業の内容を家に持ち帰って自分のものにするなら教科書が必要になると思います。

委員：道徳の授業で心のノートがありますが、活用されていますか。

事務局：道徳の副読本と心のノートを使う時間を使い分けていると思います。

委員：道徳の授業でいろんな考えをどんどん出していくことが国語の読む力、算数の問題を解く力に繋がっていくのではないかと思います。

事務局：ある数学の授業で、先生は文章問題の内容を理解しているのでさっさと説明を進めました。生徒がどれだけ理解しているかを確認していない。文章を読み解く力がないと数式が作れないということを共通理解して、生徒に手を上げさせ授業を進め

るというのが授業力だと思います。

委員：バス通学の子が、次のバスの運行までの間プレイルームで学習をすると聞きました。先生が交代で教えておられるそうですが、良い時間があるのですね。

事務局：スクールガード制度のために、逆に放課後の補充教室の時間が取れないのが実態です。中学校は補充教室が可能ですが、米原市の小学校の補充教室はほとんどできていません。スクールガードの方が迎えに来るので、帰さなくてはならない、補充教室ができないのが実態です。授業で取り残された子ども達の補充教室をしなければ、学びがないまま中学校へ行くといつてもないことになる。滋賀県の教育長もそれを懸念しておられます。校舎長会でも議論しなくてはならないと思います。補充教室をして、親が迎えに来てもいいのではないかと思います。

委員：九九ができないまま中学校を卒業する子がいるそうですね。

事務局：小学校で学ぶべきことが定着しないまま中学校へ行く子は現にいます。家庭教育の充実が重要です。通学の安心安全と補充学習の兼ね合いを県の方も懸念しています。

委員：平均だけに固執しないで、偏差値でどのようなバラツキになっているのか、教科ごと、学校ごとにしっかりと分析して欲しい。解き方だけでなく言葉を使って説明する力をつけたいとしながら、結局授業の仕方が変わっていない。解き方を勉強して、方法さえわかれば成績優秀となっている。何故そういう解き方をするのかという部分を子どもがしっかりと勉強できるよう手をかけなければならない。授業で子どもに発表させるべきなのに先生が全部説明してしまっている。授業改善の推進について研究チームを作って具体的な議論をすべきだと思います。

事務局：どの教科も問題解決をしていくための共通理解ができると思います。

委員：国語と算数に焦点を当てながら具体的に議論していただき、市としての施策をやっていただくと良いと思います。

事務局：国語・算数・数学の部会長に宿題を与えています。3学期中に、どこかの単元で市で統一した、今の学力として求められる力を育てるための素案を意見を出し合って作り、各学校で授業を行い、期末テストの中に共通の問題を入れて結果を公表する。そういった準備期間を経て、来年は教科書委員会の中で、共通の指導、共通問題をやって、分析や指導方法の振り返りをするよう投げかけをしました。

委員：教師が教育研究会に率先して参加する、自分で研鑽する雰囲気は各学校で出てくるといい。研究指定校の指定を受けるのもいい。授業改善を行っている先進地の学校へ県外研修に行く。学校規模に応じた方策を各学校から出してもらってはどうか。

事務局：各学校で考えるように指示しています。来年は全校で企画提案できるようにして、良い方策については行っていくことになると思います。

事務局：直接の運用ができるかは分かりませんが、市職員の事例研究ということでの補助制度があります。学校の先生が提案をしていただくと一定の枠がもらえますので、先進地へ研修に行ってくださいとすることが可能です。

委員：教育センターの研究論文で表彰された先生は、自信を持って子どもに接しておられるので、そういった先生を育てていくことも大事です。最近気になるのは問題行動が増えてきたこと。学ぶ雰囲気が学校から無くなってきているように思います。道徳でもきちんと考えさせ、見つめ直させることが必要だと感じます。

事務局：今回は調査結果の報告でしたが、この案件は、今後継続して協議事項とさせていただきます。

### (3) 後援等名義使用承認（後援）について（報告案件）

第2回まいばら入江干拓マラソン

【生涯学習課】

## 7 質疑応答

なし

## 8 その他

○スクールバスの現状について

【教育総務課】

委員：学校統合時に、通学距離から考えると何故河南や樋口をスクールバスに乗せるのかという疑問がありました。問題が出てきても不思議ではないですね。

事務局：2キロが一つの距離の目安かと思いますが、防犯の問題もありますので、少人数での通学の安心安全を考えたら、もう少し弾力的に検討はすべきと考えています。次回も継続審議として議論をお願いしたいと思います。

委員：2キロを基準とする場合のシミュレーションをしてください。

事務局：スクールバスの増台だけでなく、現在運行しているスクールバスの運行地域の拡大、まいちゃん号・カモン号の利用も含めて検討ができると思います。

事務局：ある程度の見直しは避けては通れません。場当たりの対応でなく、3年以内なり、一定の時期を設けて検討する必要があります。学校統合によりスクールバスを持っているのは、河南小学校と山東小学校の2校だけです。伊吹地域は、各学校がスクールバスをそれぞれ持っているわけではありません。次回以降、継続的審議ということで議論していただき、良い方向性が出るよう御指導いただければと思います。

## 9 閉会

次回

第12回定例教育委員会 12月19日（木） 午後3時30分～  
東部給食センター 2階研修室

以上をもって第11回定例教育委員会を午後5時35分に終了した。